



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.52 No.1 (Jan. 2011)

【特集：『見える化』により拡大するネットワークサービス技術】

- 特集「『見える化』により拡大するネットワークサービス技術」の編集にあたって 吉野 孝
 - Winnyp 通信検知機能の実装および評価 仲小路博史 他
 - ペルソナシナリオによる要求仕様化の通信サービスへの適用 水野 修 他
 - 機密情報追跡データの可視化による情報漏洩対策支援 中山佑輝 他
 - 電子トリアージのための医療従事者情報端末の提案 長橋健太郎 他
 - アーティストネットワークを用いたインディーズアーティスト推薦システムの構築 佐藤智行 他
 - Web ブラウザによる超高解像度可視化基盤の開発 横山昌平 他
 - 会議支援用 Visual Hull における顔部分の一貫性を確保するテクスチャリング手法 坂本竜基 他
 - コンピュータ利用時の不快感を利用した警告インタフェースの提案 藤原康宏 他
 - 多言語対面会議支援システムのための All for one 型支援の効果 宮部真衣 他
 - 遠隔ユーザのジェスチャの可視性を向上させる手法の提案と評価 山下直美 他
 - ソリー型 CGM 制作における共創効果の一検討 青木輝勝 他
 - 短期的な世代交代のある組織における注記事項伝承システム LEAVES 橋本峻平 他
 - 用例の正確性評価を目的とした用例評価手法の比較 福島 拓 他
 - 歩行空間におけるカラーユニバーサルデザイン支援システムの開発と適用 窪田 諭 他
- 【特集：魅力ある情報通信社会のためのモバイル通信と高度交通システム】
- 特集「魅力ある情報通信社会のためのモバイル通信と高度交通システム」の編集にあたって 竹下 敦

- NEMO-based path aggregation system using mobile routers on multiple vehicles Kei Tanimoto 他
- バケット重要性に応じたパス多重度可変ルーティング 友澤弘充 他
- アドホックネットワーク上のスコア分布推定による Top-k 検索手法 佐々木勇和 他
- 混合マルコフモデルに基づく歩行者動線解析方式 浅原彰規 他
- 断続的に移動する無線端末群の位置推定 樋口雄大 他
- ノード群の相対位置関係に基づく位置推定アルゴリズムの評価手法 木山 昇 他
- 物理的相互作用に着目した、スマート空間の形式仕様記述と検証 石川冬樹 他
- 光ビーコンを使用した連続自車位置推定方式 森信一郎 他
- Reducing the Network Load in CREPEEnvironment Ikeda Hideto 他
- 路傍色相情報に基づいた形状統合による道路地図作成プローブシステム 山内 仁 他

【一般論文】

- 新たな弱教師付き型分類手法 Bautext NGUYEN PHAM THANH THAO 他
- チェックイン・チェックアウトモデルを適用したMR遠隔協調作業システム 松山岳史 他
- WWWからの大規模動詞含意知識の獲得 橋本 力 他
- 自律的無線ネットワークを用いた被災情報提供システム—被災地域の地形を考慮した無線ノード置局アルゴリズムの提案—* 大瀧 龍 他

*：推薦論文 Recommended Paper
†：テクニカルノート Technical Note



おひいすらん



あけましておめでとうございます。皆様ご家族お揃いで、良いお正月をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、今年はどうな一年になるのでしょうか？ 昨年は3D元年、電子書籍元年と言われました。ITの新技術で我々の身の回りは日々大きく変わり、まさに未来学者アルビン・トフラーの言う「情報革命」の中にいると感じます。

私は企業の研究所にいた15年ほど前に「どこでもオフィス」という研究開発を担当していました。ネットワークを経由してどこでも仕事ができる環境です。インターネットの走りの頃で、なかなか良いシステムができました。ところが、アメリカに出張に行くと、昼間は一日中出張先での仕事で忙しく、ホテルに帰った夜は日本向けの仕事で忙しく、眠る暇もない有様でした。快適な社会を目指して開発したはずが、思い通りにならない結果になったわけです。このとき、技術の良し悪しだけではなく、人間がその技術をどう使いこなすかがより重要だと痛感しました。

トフラーは「第三の波」の中で「情報革命」は単にITで生活が変わるだけでなく、政治も経済も変わり、まったく別の文明になると言っています。どのような文明か想像は難しいですが、私も情報革命は100年200年続き大きな変化をもたらすと思います。ENIACが世に出てから60年余り、情報処理学会も昨年50周年を迎えたばかりです。我々はまだ「情報革命」の入り口にいるだけかもしれません。どんな新しい技術、素晴らしいサービスが生み出されるかとても楽しみです。それをどう使いこなして行くかも、一緒に考えなければなりません。

なお、本年より事務局長を交代しました。今後とも情報処理学会をよろしくお願ひ申し上げます。ご意見・ご要望は shimotsuma@ipsj.or.jp までご連絡ください。

(下間芳樹 (しもつま) / 事務局長)



平成 23 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが、会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。

関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 本会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 会誌毎号の本誌巻末の所定用紙または学会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) から、毎月アンケートに回答する。

- ・記事に対する評価
- ・記事に対する感想・意見
- ・記事テーマの提案
- ・そのほか全般的な意見・提案など

注) 会誌の記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

期 間 原則として 1 年間とします。

対 象 号 会誌 52 巻 4 号～53 巻 3 号、および年に 4 回発行される「デジタルプラクティス」

謝 礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します。

募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

応募締切 平成 23 年 2 月 25 日 (金) 必着 *申込書を Fax するか、または E-mail でお申し込みください。

申込/照会先 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

平成 23 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先：情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

氏 名

会員番号 ()

住 所 〒

所 属

E-mail:

Tel () -

Fax () -

年 齢 (歳)

業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (e) 学生 (f) その他

職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教官 (大学・大学院) (h) 教職員 (i) 学生 (j) その他

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、10月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「Linuxのセキュリティ機能」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ Linuxのアクセス制御については、理論も含めて解説されており、大変勉強になりました。

(匿名希望)

■ 無料のLinuxはセキュリティ機能があまり高くなく、企業用などの有料版利用者が信頼性の高いセキュリティ機能の付いた版を使っているとなんとなく思い込んでいたが、最近では無料のLinuxにも信頼性を高める機能が導入されていることを改めて知ることができた。

(匿名希望)

■ セキュリティの問題は、入門者と中級者以上では興味も必要な内容も大きく異なることが多い。対象読者をあらかじめ記述するか、初級・中級といったフラグをつけておいた方が読まれやすいのではないか。

(花田英輔)

■ 設定が面倒だからという理由で、SELinuxをdisableにしてインストールすることが多かったが、今回の特集記事を通じてSELinuxの設計思想に触れることができ、改めてよくできたシステムであると感心した。今度、Linuxをインストールするときはpermissiveか、enforcingに挑戦してみよう。

(匿名希望)

■ サーバやクラスタ等においてLinuxを用いておりますが、セキュリティは頭の痛い問題と感じております。今回の特集により、セキュリティに関する認識を新たにすることができました。

(匿名希望)

■ 学生時代は計算機の管理に高い興味があり、セキュリティにも非常に気を使っていましたが、それから10年、そういった意識も薄れがちになり、い

つの間にやら、SELinuxの設定なんて面倒だなという感じに。この特集を機にもう一度しっかり勉強してみるかなという気分になりました。

(廣田千明)

■ 日常的にLinuxを使う者にとって今回の特集は興味深かった。

(馬目洋一)

■ Linuxのセキュリティ強化のポイントがよく分かった。(学会誌の性質上難しい面もあるかもしれないが)商用Linuxでの同機能に関しての記事もあると、比較などをすることによってより良く理解できたと思う。

(坂川浩二郎)

■ Linuxのセキュリティ技術は非常に興味深かった。一般のOSのセキュリティについての基本知識編があるとより良かったのではないか、という気がします。

(榎田秀夫)

解説「信頼性の高い温室効果ガス排出量取引のための情報技術」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 排出量取り組みについて、現状の問題点が紹介されており、分かりやすかったと思います。

(古瀬慶博)

解説「NoSQLの世界」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました

■ NoSQLという言葉を実はこれまで聞いたことがなかったのですが、今回の「NoSQLの世界」を読んで、もう少し詳しく知りたいと思いました。

(匿名希望)

連載「プログラミング、何をどう教えているか：文理複合型情報系組織におけるプログラミング教育の実践例」および「一般学生向けのJava言語によるプログラミング入門」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 文系寄りの情報系学部、理系寄りの情報系学部、いわゆる教養教育などにおけるプログラミングに関する教育の状況や優れた教育方法など、自分の教育に直接／間接的に役立てられる内容になることを期待しています。

(匿名希望)

■プログラミング教育に関する連載は、現状がよく整理され、参考になりました。今後の記事を期待しています。(高橋慈子)

■教育に携わるものとして、大変興味深く読みました。(水野光朗)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■先日、コンピュータ将棋が女流プロを破ったニュースを見ました。詳細な経過を特集をお願いします。(匿名希望)

■会誌記事について何らかの形で英語記事を認めるような枠組みがあるともう少し読者層や記事の情報流通に変化が生まれるのではないかと期待しています。(古瀬慶博)

■専門分野以外は読まない傾向にあるため、初学者にも分かりやすい記事にしていきたい。(匿名希望)

■「表紙の募集」に関して、表紙が同じだと分かり

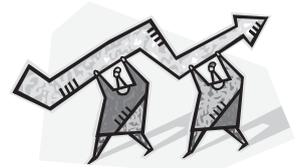
にくいので、色だけでも変えていただくと読み返す際に分かりやすいです。(匿名希望)

■今号では広告が増えて良かったと思う。特に学生の教材となるような広告や、業務に参考になりそうな書籍の広告があったのが嬉しかった。(大垣憲俊)

■「カーネル法」について包括的に取り上げてほしい。(大垣憲俊)

■「ニューラルネットワーク」の今現在の研究状況や過去の技術などを知りたい。(匿名希望)

■計算機システムやネットワークシステムの運用管理技術の動向を取り上げてほしい。(栴田秀夫)



【本欄担当 中田康太, 屋代 聡 / 書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPSIJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-J.html	2月15日(火)		
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日(月)		
	東海支部平成22年度学生論文奨励賞	3月15日(火)		
	論文誌「情報爆発時代におけるIT基盤技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-H.html	3月20日(日)		
	論文誌「教育とコンピュータ」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-K.html	3月28日(月)		
	論文誌「新たな展開を迎えるITS、モバイル通信とユビキタスコンピューティング」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-E.html	3月31日(木)		
	論文誌「われわれの知識を拓げるコラボレーション技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-C.html	4月11日(月)		
	論文誌「社会活動を支える情報システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-D.html	5月16日(月)		
1月17日(月)～	第148回システムLSI設計技術研究発表会	11月5日(金)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月18日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLDM148.html			
1月18日(火)～	ハイパフォーマンスコンピューティングと	9月24日(金)		産業技術総合研究所 共用講堂
1月19日(水)	計算科学シンポジウム(HPCS2011) http://www.hpcc.jp/hpcs/			
1月19日(水)	北陸支部主催研究講演会「入門・分散アルゴリズムの世界」 http://www.ipsj-hokuriku.gr.jp/ccPOI2.html		無料・会員以外の 方も参加可	金沢大学自然科学研究 棟レクチャーホール 立命館大学
1月20日(木)～	第175回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	11月1日(月)	当日のみ	
1月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CVIM175.html			
1月20日(木)～	第185回計算機アーキテクチャ研究発表会	11月11日(木)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/ARC185.html			
1月20日(木)～	第82回プログラミング研究発表会	11月17日(水)	当日のみ	宮古島市 中央公民館 研修室
1月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/PRO82.html			
1月20日(木)～	ウィンターワークショップ2011・イン・修善寺	12月20日(月)	12月20日(月)	ラフォーレ修善寺
1月21日(金)	http://ww2011.ae.keio.ac.jp:8080/ww2011/			
1月21日(金)	第79回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DD79.html		当日のみ	開港記念会館 7号会議室
1月21日(金)	第141回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HCI141.html	11月19日(金)	当日のみ	関西学院大学 大阪梅田キャンパス
1月21日(金)～	第78回グループウェアとネットワークサービス研究会	11月12日(金)	当日のみ	鹿児島県鹿児島薩摩川内 里公民館
1月22日(土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/GN78.html *開催日程が変更になりました			
1月22日(土)	第89回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CH89.html	12月6日(月)	当日のみ	総合地球環境学研究所 (京都府京都市)
1月24日(月)～	第116回システムソフトウェアとオペレーティング・システム	11月24日(水)	当日のみ	アクロス福岡
1月25日(火)	研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/OS116.html			
1月25日(火)～	Asia and South Pacific Design Automation Conference 2011			パシフィコ横浜
1月28日(金)	(ASP-DAC 2011) http://www.aspdac.com/aspdac2011/index.html			
1月27日(木)～	第101回情報基礎とアクセス技術・第200回自然言語処理	12月3日(金)	当日のみ	NHK放送技術研究所
1月28日(金)	合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IFAT101NL200.html			
2月3日(木)	ソフトウェアジャパン2011 「サイバー・フィジカル・システムークラウドに組み込まれる実世界ー」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2011/		1月24日(月) 定員になり次第	タワーホール船堀
2月5日(土)～	第108回コンピュータと教育研究発表会	12月17日(金)	当日のみ	東京農工大学
2月6日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE108.html			
2月8日(火)～	第142回グラフィクスとCAD研究発表会	11月26日(金)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス来往舎
2月9日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CG142.html			
2月10日(木)	第51回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EIP51.html	12月20日(月)	当日のみ	同志社大学 寒梅館
2月11日(金)～	第89回音楽情報科学研究発表会	12月18日(土)	当日のみ	九州大学 大橋キャンパス
2月12日(土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MUS89.html			
2月28日(月)～	第12回インターネットと運用技術研究発表会	1月7日(金)	当日のみ	高知市文化プラザ かるぼーと
3月1日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IOT12.html			
3月2日(水)～	第73回全国大会			東京工業大学 大岡山キャンパス
3月4日(金)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/73kai/index.html			
3月7日(月)	第34回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EVA34.html	12月28日(火)	当日のみ	岩手県立大学アイーナ キャンパス
3月7日(月)	第134回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AL134.html	1月7日(金)	当日のみ	沖縄県青年会館
3月7日(月)～	第57回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会		当日のみ	東邦大学
3月8日(火)	http://www.ishilab.net/mb/			
3月8日(火)	第162回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/ICS162.html	1月21日(金)	当日のみ	ラフォーレ白馬
3月10日(木)～	第186回計算機アーキテクチャ研究発表会		当日のみ	高知工科大学
3月11日(金)	http://sigarc.hpcc.jp/			
3月10日(木)～	第72回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	1月21日(金)	当日のみ	沖縄県男女共同参画 センター「ていいる」
3月11日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AVM72.html			

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月10日 (木) ~	ネットワーク生態学研究グループ 第7回シンポジウム		定員になり次第	蔵王ルーセント タカミヤ
3月12日 (土)	http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			
3月10日 (木) ~	インタラクション2011	11月8日 (火)	当日可	日本科学未来館 (東京)
3月12日 (土)	http://www.interaction-ipsj.org/2011/			
3月14日 (月) ~	第115回情報システムと社会環境研究発表会		当日のみ	専修大学 神田キャンパス
3月15日 (火)	http://ipsj-is.jp/ *開催日程が変更になりました			
3月14日 (月) ~	第171回ソフトウェア工学研究発表会	1月12日 (水)	当日のみ	化学会館 会議室
3月15日 (火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SE171.html			
3月15日 (火) ~	第129回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会	1月7日 (金)	当日のみ	鬼怒川観光ホテル
3月16日 (水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HPC129.html			
3月16日 (水) ~	第83回プログラミング研究発表会	1月14日 (金)	当日のみ	日本アイ・ビー・エム (株) 東京基礎研究所
3月17日 (木)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/PRO83.html			
3月17日 (木) ~	第142回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会		当日のみ	筑波大学 東京リエゾンオフィス (秋葉原ダイビル14階)
3月18日 (金)				
3月17日 (木) ~	第79回グループウェアとネットワークサービス研究発表会		当日のみ	熊本市現代美術館
3月18日 (金)				
3月18日 (金) ~	第149回システムLSI設計技術・第20回組込みシステム 合同研究発表会 (ETNET2011)	1月18日 (火)	当日のみ	宮古島マリンターミ ナル
3月19日 (土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLDM149EMB20.html			
3月18日 (金) ~	第109回コンピュータと教育研究発表会	1月31日 (月)	当日のみ	神戸大学
3月19日 (土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE109.html			
3月19日 (土)	情報システム教育コンテスト (ISECON2010)	12月17日 (金)	当日のみ	青山大学 青山キャンパス
	http://www.ne.senshu-u.ac.jp/~matunaga/isecontest/			
3月23日 (水)	第163回知能システム研究発表会	2月2日 (水)	当日のみ	名古屋大学
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/ICS163.html			
3月23日 (水) ~	The 10th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2011)			東京サピアタワー
3月25日 (金)	http://www.isads2011.info.hiroshima-cu.ac.jp/			
7月18日 (月) ~	The 2011 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2011)			Munich, Germany
7月22日 (金)	http://saintconference.org/			
8月30日 (火) ~	6th International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2011)			東京
8月31日 (水)	http://www.collabtech.org/			
9月7日 (水) ~	FIT2011 第10回情報科学技術フォーラム			函館大学・函館短期大学
9月9日 (金)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2011/index.html			
2012年				
11月11日 (日) ~	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議			つくば国際会議場
11月15日 (木)	http://www.icpr2012.org/			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 12月7日 『「デジタル教科書」推進に際してのチェックリストの提案と要望』を文部科学省に提出
- 12月7日 日本情報科教育学会3周年記念フォーラムのお知らせ
- 12月6日 「情報爆発時代におけるIT基盤技術」特集の論文募集
- 12月3日 「新たな展開を迎えるITS、モバイル通信とユビキタスコンピューティング」特集の論文募集
- 12月1日 「組込みシステム工学」特集の論文募集, 「われわれの知識を拡げるコラボレーション技術」特集の論文募集, 「社会活動を支える情報システム」特集の論文募集

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)
賛助会員 (企業) 31,500 円 ()
賛助会員以外の企業 52,500 円 ()
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■帝京大学工学部ヒューマン情報システム学科

募集人員 講師または助教 1名
所属 学部は理工学部ヒューマン情報システム学科, 大学院は理工学研究科
専門分野 ロボティクス, ヒューマンサイエンス, センサ情報処理, 電子制御関連
担当科目 学部ではロボット科学, 人間工学, ロボット製作演習, ヒューマンシステム実習, 工学基礎実験など
大学院では先端ロボット科学など
応募資格 学位を有する, または取得できる見込みのある方, 上記専門分野で研究・業績のある方
ロボットコンテスト等参加学生への指導に熱意のある方
着任時期 平成23年4月1日
提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷 (3編以内), 所属学会, 社会における活動状況, 特許, 外部資金の取得状況, これまでの研究概要 (A4用紙1枚以内), 今後の教育と研究に対する抱負 (A4用紙1枚以内)
応募締切 平成23年1月31日 (必着)
照会先 ヒューマン情報システム学科 学科長 熊澤弘之 E-mail:kuma@ics.teikyo-u.ac.jp Tel(028)627-7177
その他 【任期】常勤, 任期5年 (任期なしへの移行も可能)

■大分大学工学部知能情報システム工学科

募集人員 准教授 1名
所属 計算機システム講座
専門分野 ソフトウェア工学, 計算機アーキテクチャ, 組込みシステム, プログラム処理系
担当科目 ソフトウェア工学, ソフトウェア開発演習, 論理回路
応募資格 (1)着任時に博士の学位を有し, 大学院教育ができる方, (2)専門分野に関して研究業績を有し, 今後の発展が期待できる方, (3)教育および学部・学科運営に熱意を有する方
着任時期 平成23年8月1日 (予定)
提出書類 (1)個人調書*, (2)論文別刷 (コピー可), (3)今後の教育および研究に対する抱負 (それぞれ A4用紙1枚程度), (4)可能であれば, 推薦書1通または応募者について問合せができる方2名の氏名と連絡先
*様式は大分大学工学部の Web ページ (<http://www2.cc.oita-u.ac.jp/eng/index.html>) からダウンロードしてください
応募締切 平成23年3月22日 (必着)
送付先 〒870-1192 大分県大分市旦野原700 大分大学工学部総務係 係長 酒井智子
「知能情報システム工学科教員応募書類」と朱書き簡易書留
*応募書類は返却いたしません。また, 応募書類に含まれる個人情報, 選考および採用以外の目的には使用いたしません
照会先 知能情報システム工学科 学科長 末田直道 E-mail:sueda@oita-u.ac.jp Tel/Fax(097)554-7880
その他 【選考方法】書類審査による選考の後, 必要に応じて面接やプレゼンテーションをお願いすることがあります。ただし, ご来学いただく場合には旅費等は応募者の負担となります



FIT2011 第 10 回情報科学技術フォーラム 査読付き論文・一般論文 講演募集予告

会 期：2011年9月7日（水）～ 9日（金）

会 場：函館大学・函館短期大学（北海道函館市高丘町51-1）

FIT2011 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2011/>

査読付き論文受付期間（予定）：2011年3月 7日（月）～4月21日（木）

一般論文 受付期間（予定）：2011年4月28日（木）～5月27日（金）

- ◆論文ページ数：2～8ページ程度 ◆講演時間：20分
- ◆3ページ目以降はエクストラページ料金（3,000円／ページ）が必要です

情報処理学会（IPSJ）と電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ（ISS）並びにヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2011年9月には第10回目を函館大学・函館短期大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

●論文誌への道！ 「FIT 査読付き論文」論文誌推薦制度（6～8ページ程度）

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として情報処理学会または電子情報通信学会の論文誌へ推薦する制度がございます。

「FIT 査読付き論文」の申込とあわせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、ご希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2011年6月末頃に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

●申込主要日程（予定）

※査読付き論文と一般論文では、登録申込/投稿受付開始時期が異なりますので御注意下さい。

■査読付き論文

登録申込/投稿受付開始：2011年3月 7日（月）

登録申込締切/査読用原稿の投稿締切：

2011年4月21日（木）

査読の採否結果通知：2011年6月22日（水）

論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)：

2011年6月末頃

最終掲載投稿締切：2011年7月 4日（月）

■一般論文

登録申込/投稿受付開始：2011年4月28日（木）

登録申込締切：2011年5月27日（金）

最終掲載原稿：2011年7月 4日（月）

※登録申込と原稿投稿は、上記のFIT2011Webページよりお願い致します。

※登録申込、原稿投稿要領の詳細は、決定次第 FIT2011Web ページでお知らせ致します。

●査読付き論文（4～8ページ程度）

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8 ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。また、採録された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5%を上限として優秀な論文を推薦、その中から船井ベストペーパー賞 3 件程度、FIT 論文賞 7 件程度を選定し、表彰式（FIT2011 会期中）にて表彰致します。船井ベストペーパー賞受賞論文には船井情報科学振興財団より賞金 20 万円、FIT 論文賞受賞論文には FIT 推進委員会より賞金 5 万円を贈呈します。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

なお、査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います（一般論文発表となります）。

※一部の研究分野では査読付き論文の募集を致しません。査読付き論文の募集を行う研究分野については、Web ページを御覧下さい。

●一般論文（2～8ページ程度）

当該 FIT での発表件数の 1.5%を上限として、2011年12月31日現在で 33 歳未満の講演者（査読付き論文および一般論文）を対象に優れた発表を選定し、ヤングリサーチャー賞（賞金 3 万円）として FIT2012 の表彰式で贈呈します。

●問合せ先（FIT2011幹事学会）

101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

一般社団法人 情報処理学会 事業部門 TEL. 03-3518-8373 FAX. 03-3518-8375 e-mail: jigyo@ipsj.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

CONTENTS

Preface

Looking towards Next 50 Years - Planting a Tree in the Heart -
Norio SHIRATORI (Tohoku Univ.)

Round-Table Talk

2 **Opinions by Eight Presidents from Informatics**
Naoki ASADA (Hiroshima City Univ.), Setsuo ARIKAWA (Kyushu Univ.), Yukihiro ITO (Shizuoka Univ.), Takuya KATAYAMA (Japan Advanced Institute of Science and Technology), Hidefumi KOBATAKE (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology), Katsuhiko SHIRAI (Waseda Univ.), Nobuki TOKURA (Osaka Electro-Communication Univ.), Hideyuki NAKASHIMA and Emiko TAYANAGI (Future Univ. Hakodate)

Special Features

ICT : Producing the Future Society

- 12 **0. Foreword**
Tadanori MIZUNO (Shizuoka Univ.) and Tsuyoshi MOTEGI (Mitsubishi Electric Corp.)
- 14 **1. Vehicles Networking - Towards a Safe, Comfortable and Ecological Vehicles Society -**
Sadao OBANA (Advanced Telecommunications Research Institute International) and Tomoyuki YASHIRO (Chiba Institute of Technology)
- 19 **2. Connecting People, Things, and System through Mobile ICT - Always Support Platform being Aware of Situation**
Atsushi TAKESHITA, Ken OHTA (NTT Docomo, Inc.) and Hirozumi YAMAGUCHI (Osaka Univ. / Japan Science Technology and Agency, CREST)
- 24 **3. Miniature Gardens of Internet Technologies - Toward Reliable Information Infrastructure based on Verified Network Technologies -**
Shinsuke MIWA, Toshiyuki MIYACHI (National Institute of Information and Communications Technology) and Yusuke DOI (Toshiba Corp.)
- 28 **4. Realizing Remote Embodied Communication Space - Understanding Mediated Communication of Multiple Participants -**
Hideaki KUZUOKA (Univ. of Tsukuba)
- 32 **5. Understanding of Human Activity using Large Scale Database and Wearable Sensor - Towards the Next Generation of Thoughtful Wellness System -**
Nobuo KAWAGUCHI (Nagoya Univ.)
- 37 **6. Future Style of Smart Phone with Security Technology - Smart Adaptable Mobile Terminal for Any Situation -**
Keisuke TAKEMORI (KDDI R&D Labs. Inc.)
- 41 **7. Opening up New Services by Urban Sensing - Realization of Near-future Services Integrating Sensor and Cyber Information**
Takahiro HARA (Osaka Univ.)
- 46 **8. Smartly Supporting User's Behavior - A Service Platform Reading User's Intention**
Masako SHINOHARA (Fujitsu Labs. Ltd.)
- 48 **9. ICT Enriches Our Learning and Education - For the Birth of the Electronic Media that Produce the Wisdom and Expertise -**
Satoshi ICHIMURA (Tokyo Univ. of Technology)
- 50 **10. Toward the Encourage Mechanism based on the Power of Community - Creation of Various, Good Quality Contents by Everyone's Power -**
Takashi YOSHINO (Wakayama Univ.)
- 52 **11. Enhancing Japanese Manufacturing by IC Tags - Various Tags and Readers Change the Manufacturing Industry -**
Toshihisa KAMEMARU (Mitsubishi Electric Corp.)
- 54 **12. Intuitive Short-Range Wireless Communication - Toward Communication Technologies Integrated with the Real World -**
Shigeaki TAGASHIRA and Yutaka ARAKAWA (Kyushu Univ.)
- 56 **13. Eliminating Power Cords - Wireless Power Transfer and Energy Harvesting -**

- 58 **14. Realizing Green Cloud Computing - Toward Ultimate Power Efficiency with Super Embedded Systems Technology -**
Shingo TANAKA (Toshiba Corp.)
- 60 **15. Producing Energy by Internet Technologies - From QoS Control to Energy Control -**
Youchi KOYAMA and Akihiro OKAMOTO (Trans New Technology, Inc.)
- 62 **16. Evoke Real-Time Sensation by Streaming Delivery - Future-Oriented Contents Delivery Service by Broadcast Computing -**
Tomoki YOSHIIHISA (Osaka Univ.) and Yusuke GOTOH (Okayama Univ.)
- 64 **17. Offering Users to Feel Anshin, the Sense of Safety and Security - A Questionnaire Survey on the Sense of Safety of Truck Drivers -**
Yasuhiro FUJIHARA (Iwate Prefectural Univ.) and Takayuki NAGAYOSHI (UD Trucks)

Special Features

Development for Collaborative Integration of Speech and Image Recognition

- 67 **0. Foreword**
Yasuo ARIKI (Kobe Univ.) and Akitoshi OKUMURA (NEC Corp.)
- 71 **1. Audio and Video Structuring for Information Retrieval**
Takafumi KOSHINAKA, Ryoma OAMI, Itaru HOSOMI and Hitoshi IMAOKA (NEC Corp.)
- 79 **2. Spoken Dialog System with Image Information**
Kentaro KAYAMA (National Institute of Communications and Technology (NICT))
- 87 **3. Audio-Visual Speech Recognition**
Yasuo ARIKI and Yuto KOMAI (Kobe Univ.)

Information Resources : Trails of RoboCup - Chart toward 2050 -

- 95 **Small Size Robot League**
Yasunori NAGASAKA (Chubu Univ.)

Series : How to Teach What in a Course of Programming?

- 111 **Practical Report on Programming Class using Scratch**
Kazunari ITO (Aoyama Gakuin Univ.)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

- 114 **Oral History : Interview with Dr. Kiyasu Zen-iti**
Naoya UKAI (Fujitsu Ltd.), Osamu UDA (Nihon Univ.) and Akihiko YAMADA (Computer Systems and Media Lab.)

Series : Quick Report on Doctoral Theses Recommended by IPSJ SIGs

- 121 **Parallel Programming with Tree Skeletons**
Ryota NAKAMURA (Tokyo Univ. of Technology)
- 122 **Personalized Recommendations for Ubiquitous Learning Environments : Decision Support System Using Intelligent Embedded Agents**
Moushir M. EL-BISHOUTY (The Univ. of Tokushima)
- 123 **A Study on Flexible Group Communication Architecture Compatible with Both Security and Mobility**
Hidekazu SUZUKI (Meijo Univ.)

Column : "I" Report

- 124 **Report of IEEE ICC 2010**
Takashi SHIMIZU (NTT Network Innovation Labs.)
- 128 **ICFP 2010**
Kazuhiro INABA (National Institute of Informatics)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 131 **Society for Innovations**
Iwao TODA

ご意見をお寄せください!

【2月10日頃までにお出してください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5201.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別: (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号 (2011年1月号) の記事はお役に立ちましたか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a...大変よい b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 巻頭コラム: 新たな50年へ向けて 10-1- []
- 座談会: 情報系学長、おおいに語る 10-2- []
- 特集: 未来社会をプロデュースする ICT
1. クルマをネットワーク化する 10-3- []
 2. モバイルICTで人、モノ、システムを深くつなげる 10-4- []
 3. インターネット技術の箱庭をつくる 10-5- []
 4. 身体的遠隔コミュニケーション空間を実現する 10-6- []
 5. 大規模データベースと装着型センサで人間行動を理解する 10-7- []
 6. セキュリティ技術でスマートフォンの未来を支える 10-8- []
 7. アーバンセンシングで新たなサービスを展開する 10-9- []
 8. ユーザをさりげなく支援する 10-10- []
 9. 学びと教を豊かにする 10-11- []
 10. コミュニティの力を動かせる 10-12- []
 11. 電子タグで日本のモノづくりを元気にする 10-13- []
 12. 近距離無線通信を直感的にする 10-14- []
 13. 電源コードをなくす 10-15- []
 14. 環境調和型クラウドコンピューティングを実現する 10-16- []
 15. インターネット技術でエネルギーを創り出す 10-17- []
 16. ストリーミング配信で「今」に感動を与える 10-18- []
 17. ユーザに安心を提供する 10-19- []
- 小特集: 音声・映像認識連携への取り組み
1. 音声・映像情報の構造化と検索 10-20- []
 2. 映像情報を用いた音声対話 10-21- []
 3. 画像と音声情報を統合した発話認識 10-22- []
- ロボカップ道しるべ: 第3回 小型ロボットリーグ 10-23- []
- プログラミング、何をどう教えているか: Scratch を用いた授業実践報告 10-24- []
- 古機巡礼/二進伝心: オーラルヒストリー: 喜安善市氏インタビュー 10-25- []
- 研究会推薦博士論文速報 10-26- []
- "I" 見聞録: IEEE ICC 2010 10-27- []
- "I" 見聞録: ICFP 2010 10-28- []
- IT好き放題: イノベーションを伸ばす社会 10-29- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか? 上記(10)の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入)、その理由をご回答ください。
上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- (11-1) 良かった記事 11-1- []
- (11-2) 選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) 11-2- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった
 - b) 知的興味をかきたてられた
 - c) 新たな知識を得ることができた
 - d) 内容が平易で理解しやすかった
 - e) その他 (具体的に下記にご記入ください)

[次ページに続く]

(12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 12-2- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

(13) 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

(14) 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。
 （スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約100名の方々から毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ（<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>）をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事 業／国 際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJメールニュース
図 書	tosh@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

訂 正

本誌51巻11号（2010年11月号）の「プログラミング、何をどう教えているか：関数型言語 Standard ML のプログラミング教育」に一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

p.1491 著者 榎本 進様のご略歴 （誤） nomoto@is.noda.tus.ac.jp （正） enomoto@is.noda.tus.ac.jp

最近急に寒くなって、研究室の学生もバタバタ風邪で倒れている。そういえば私が幼いころには母が風邪を吹き飛ばすおまじないをしてくれたものだ。病は気からともいうが、風邪もポジティブな気持ちで吹き飛ばしたような気がする。21世紀になればおまじない以上に簡単に風邪なんて治るような技術が出てくることを想像し、夢の乗り物とロボット、コンピュータの創り出す豊かな世界にイメージを膨らませた。しかし、実際21世紀になって10年、夢とはかけ離れた、政治と経済にかき乱されたばつとしない社会がここにある。不景気のせいかどうかともみんがネガティブになり、クリエイティビティを失ってきたの

ではないだろうか？ これからの未来、人類は本当に豊かな暮らしを手にすることができるのだろうか？ 今回の特集はそんな我々の不安を払拭すべく、たくさんの近未来プロデューサーの方々に楽しい未来と夢を語っていただいた。著者の皆様ならびにゲストエディタの方々のお力でバラエティに富む楽しい特集になったのではないか。「そういえば最近楽しい夢を見るのを忘れていたな」という読者の皆様は、記事を読みながら幼いころのように明るい未来を想像し、風邪を吹き飛ばしていただきたい。

(塚本昌彦／本特集エディタ)

新年明けましておめでとうございます。皆様は元日にどのようなことを祈願されたでしょうか。私は元旦に…と書いたところで、元日と元旦の違いが気になりました。広辞苑によると、元日は1月1日で元旦は元日の朝とのことです。旦は、地平線を表す「一」の上に太陽の「日」を書いて朝や夜明けを意味します。元には物事の起こりや始まりといった意味があり、元素のように万物の根源をなす恒常不変の究極的構成要素にも使われます。元素は、人工的なものも含めると110種類以上が確認されているようですが、昨年はいくつかの元素が話題になりました。パラジウムを触媒として結合しにくい炭素同士を効率よく自在に結合させるクロスカップリングという合成法を開発した業績によって、鈴木章博士と根岸英一博士がノーベル化学賞を受賞しました。この合成法によりプラスチックや医薬品といったさまざまな有機化合物が製造されています。また、スカンジウムやイットリウムなどレアアースという言葉も有名になりました。レアアースは、希土類元素と呼ばれる17種類の元素の総称で、ほんのわずか添加するだけで材料の特性を変えられる、まさに先端材料の栄養剤のようなものです。自動車、家電

製品、携帯電話、パソコン、カメラなどいたるところで利用されています。情報の分野においても、ある情報を媒介として新たな情報が創出されたり、情報の価値が変質することが起こります。とりわけ情報洪水や情報爆発と呼ばれる現代において、その可能性は無限にあると言えます。情報処理の今回の特集は、映像情報と音声情報の連携と融合が切り拓く新たな技術や応用について紹介するだけでなく、新しいアイデアを創造すること、ブレークスルーの本質を示唆しています。アイデアとは既存の要素の新しい組合せ以外の何ものでもない、アメリカ広告業界の要職を歴任したジェームズ・ヤング氏は語っています。この意見がすべてに当てはまるわけではありませんが、古今東西、文化・芸術・宗教・科学など多くの分野において、新しいアイデアはしばしば既存アイデアの融合から誕生し発展してきました。本特集が、触媒や栄養剤となって、音声、映像、テキスト、センサなどの処理技術をエッセンスとする技術イノベーションが起きること・始まることを、元旦の祈願としたいと思います。本年もよろしくお祈りします。

(奥村明俊／本小特集ゲストエディタ)

次号（2月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」あから 2010 勝利への道（仮）

対戦までの準備と当日対戦の様相／あから 2010 の概要と技術的準備／清水女流王将対策と序盤戦術／4つのプログラムの思考ログと合議ログ／コンピュータとの対戦を終えて／トッププロ棋士に勝つためのコンピュータ将棋委員会の生い立ち

「特集」卒論特集・修論特集

報告：創立50周年記念事業の実施概要報告

学会活動報告：IFIP—情報処理国際連合—近況報告

道しるべ：ロボカップ道しるべ

連載：研究会推薦博士論文速報／プログラミング、何をどう教えているか

コラム：“I” 見聞録／巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題

トピックス：第73回全国大会のご案内

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 52巻1号 掲載広告(五十音順)

- インタフェース……………表2 日立製作所……………表4
 オーム社……………表2対向

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア
NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)



Fusic Co., Ltd.
(株) Fusic

ilovex

(株) アイロベックス

INFOJAM

(株) インフォジャム

uejima SONY

(株) うえじま企画

ソニー (株)

コトバウチュウ

(株) ニュースウォッチ

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)

●●● 賛助会員 (2口)



(株) KDDI 研究所



NTT アドバンステクノロジー
(株)



三協印刷 (株)



三美印刷 (株)



鉄道情報システム (株)



東北電力 (株)



(株) ナレッジクリエーション 日本放送協会放送技術研究所
テクノロジー



インテル (株)

【A～Z】

(株) CIJ
 CRIMSON INTERACTIVE
 PVT. LTD.
 (株) CSK
 (株) CSP フロンティア研究所
 (株) Fusic
 (株) HBA
 Intellectual Ventures Japan 合同会社
 JRC エンジニアリング(株)
 (株) KDDI 研究所
 MHI エアロスペースシステムズ(株)
 NEC システムテクノロジー (株)
 (株) NEC 情報システムズ
 NECソフト(株)
 NEC ソフトウェア東北(株)
 NEC フィールドエンジニア(株)
 NTT アドバンステクノロジー(株)
 NTT コムウェア(株)
 NTT ソフトウェア(株)
 (株) NTT データ
 (株) NTT データ・アイ
 (株) NTT データ CCS
 (株) NTT データ関西
 (株) NTT データ九州
 (株) NTT データ中国
 (株) NTT データ東海
 (株) NTT データ東北
 (株) NTT ドコモ
 NTT 横須賀研究開発センタ
 (株) OKI ソフトウェア エンジニア
 リングセンタ
 (株) OKI ソフトウェア エンジニア
 ソリューションセンタ
 (株) PFU
 TIS (株)

【あ行】

アートシステム(株)
 (株) アールティ
 アイアンドエルソフトウェア(株)
 (株) アイヴィス
 (株) アイ・エス・ビー
 アイシン・インフォテックス(株)
 アイシン精機(株)
 (株) アイズファクトリー
 (株) アイロベックス
 (株) アドバンス・メディア
 (株) アルファシステムズ
 池上通信機(株)
 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
 岩崎通信機(株)
 (株) インテック
 (株) インテックシステム研究所
 インテル(株)
 インフォサイエンス(株)
 (株) インフォジャム
 (株) ヴァル研究所
 (株) うえじま企画
 (株) エクサ

(株) エス・エフ・シー
 (株) エスケーエレクトロニクス
 (株) エヌジェーケー
 エヌ・ディー・アール(株)
 (株) エルザジャパン
 オークマ(株)
 (株) 大塚商会
 (株) オーム社
 沖電気工業(株)
 (株) 小野仁
 オムロン(株)

【か行】

(独) 科学技術振興機構
 (財) 画像情報教育振興協会
 (学) 片柳学園日本工学院専門学校
 (学) 片柳学園日本工学院八王子
 専門学校
 関西電力(株)
 関電システムソリューションズ(株)
 (財) 機械振興協会
 キヤノン(株)
 キヤノン(株) 技術資料センター
 キヤノン IT ソリューションズ(株)
 キヤノンソフトウェア(株)
 (財) 九州先端科学技術研究所
 九州電力(株)
 共立出版(株)
 (株) 近代科学社
 グーグル(株)
 原電情報システム(株)
 (株) コア 中四国カンパニー
 (株) 構造計画研究所
 (株) 高知電子計算センター
 国土館大学情報科学センター
 (独) 国立印刷局研究所
 国立国会図書館
 コニカミノルタテクノロジーセン
 ター (株)
 (株) コミュニチュア
 コムシス情報システム(株)

【さ行】

(株) サイエンスハウス
 サクサ(株)
 サクシード(株)
 三協印刷(株)
 三美印刷(株)
 三洋電機(株)
 (株) シーエーシー
 (株) ジーダット
 (株) ジェイアールシステム・エンジ
 ニアリング
 (株) ジェイアール東日本情報シス
 テム
 システム・オートメーション(株)
 (株) システムラボ
 実教出版(株)
 シャープ(株)
 (株) ジャステック

(株) ジャストシステム
 (株) ジャパンテクニカルソフトウェア
 (社) 情報サービス産業協会
 (独) 情報処理推進機構
 (独) 情報通信研究機構
 新日鉄ソリューションズ(株)
 (株) 数理計画
 住友電気工業(株)
 3Di (株)
 (株) セイノー情報サービス
 セコム(株)
 (株) 全農ビジネスサポート
 (株) 創夢
 ソニー(株)
 ソニーグローバルソリューショ
 ンズ(株)
 (株) ソフトウェアコントロール
 (財) ソフトウェア情報センターソフ
 トウェア特許情報センター
 ソラン(株)

【た行】

拓殖大学
 中国電力(株)
 (株) 中電シーティーアイ
 中部電力(株)
 中部日本電気ソフトウェア(株)
 通研電気工業(株)
 ティーディーシーソフトウェアエン
 ジニアリング(株)
 テービーテック(株)
 デジタルプロセス(株)
 鉄道情報システム(株)
 (財) 鉄道総合技術研究所
 (株) テブコシステムズ
 (社) 電子情報技術産業協会
 (株) デンソー
 (株) デンソーアイティラボラトリ
 (株) デンソークリエイト
 (株) 電通国際情報サービス
 (財) 電力中央研究所
 東海ソフト(株)
 東海旅客鉄道(株)
 東京電力(株)
 東光(株)
 (株) 東芝
 東芝システムテクノロジー(株)
 東芝情報システム(株)
 東芝ソリューション(株)
 東芝テック(株)
 東芝マイクロエレクトロニクス(株)
 東芝メディカルシステムズ(株)
 東邦ガス情報システム(株)
 東北電力(株)
 (株) 東和システム
 特許庁
 トップラン・フォームズ(株)
 (株) トヨタコミュニケーションシス
 テム
 トヨタ自動車(株)
 (株) 豊田中央研究所

(株) ドワンゴ

【な行】

(株) ナレッジクリエーションテクノ
 ロジー
 (株) ニコンシステム
 日鉄日立システムエンジニアリング
 (株)
 日本アルゴリズム(株)
 (株) 日本情報システムサービス
 日本電気(株)
 (株) 日本電気特許技術情報セン
 ター
 日本アイ・ピー・エム(株)
 (社) 日本化学会
 日本銀行
 日本原子力研究開発機構
 日本証券テクノロジー(株)
 日本信号(株)
 日本電子計算(株)
 日本電信電話(株)
 (株) 日本トラフィックコンピュー
 ターセンター
 (財) 日本品質保証機構
 日本放送協会 放送技術研究所
 日本無線(株)
 日本ユニシス(株)
 (株) 日本旅行
 (株) ニューズウォッチ
 (株) ニューメディア総研
 (株) ネプロジャパン
 (株) 野村総合研究所

【は行】

(株) ハイエレコン
 パイオニア(株) 研究開発部
 パイオニア(株) 技術生産センター
 技術部
 萩原電気(株)
 (有) バクサリー
 (株) 博報堂DYホールディングス
 パナソニック(株)
 パナソニック(株) AVC ネットワー
 クス社
 パナソニック システムネットワー
 クス(株)
 パナソニック モバイルコミュニ
 ケーションズ(株)
 パナソニック MCE (株)
 パナソニック電工(株)
 (株) ハビネット
 (株) ビーコン インフォメーション
 テクノロジー
 日立アイ・エヌ・エス・ソフトウェア(株)
 (株) 日立アドバンスデジタル
 (株) 日立国際電気
 (株) 日立情報システムズ
 (株) 日立情報制御ソリューション
 ズ
 (株) 日立製作所 システム開発研

研究所
 (株)日立製作所 情報・通信システム社
 (株)日立製作所 中央研究所
 (株)日立製作所 中国支社
 (株)日立製作所 東北支社
 (株)日立ソリューションズ
 (株)日立中国ソリューションズ
 (株)日立テクニカルコミュニケーションズ
 日立電子サービス(株)
 (株)日立東日本ソリューションズ
 (株)ファースト
 (株)フォーカスシステムズ
 (株)フォーラムエイト
 (株)フジキカイ 名古屋工場
 富士通(株)
 (株)富士通アドバンスエンジニアリング
 (株)富士通エフサス

(株)富士通九州システムズ
 (株)富士通四国システムズ
 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー
 (株)富士通中国システムズ
 (株)富士通中部システムズ
 富士通テン(株)
 (株)富士通東北システムズ
 (株)富士通長野システムエンジニアリング
 (株)富士通北陸システムズ
 フジテック(株)
 富士電機システムズ(株)
 富士フィルム(株)
 船井電機(株)
 フューチャーアーキテクト(株)
 ブラザー工業(株)
 ぶらっとホーム(株)
 古野電気(株)
 北陸電力(株)

(株)堀場製作所
 (株)本田技術研究所
 【ま行】

(株)マイクロアド
 マイクロソフト(株)
 マツダ(株)
 三井情報(株)
 (株)ミックナイン
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
 三菱スペース・ソフトウェア(株)
 (株)三菱総合研究所
 三菱電機(株)
 三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
 三菱電機コントロールソフトウェア(株)
 三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)

三菱プレジジョン(株)
 武蔵野美術大学
 (株)メイテツコム

【や行】
 ヤフー(株) Yahoo! JAPAN 研究所
 ヤマハ(株)
 横河電機(株)

【ら行】
 楽天(株)
 リードエグジビジョンジャパン(株)
 (株)リコー
 (株)リンクレア



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな？

この分野で
未来の情報社会を
リードできそうだ。

よし！
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう！

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!

申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率 (正会員会費が割引対象)

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%
ASTI	(Association Francaise des Sciences et Technologies de l' Information)	10%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/03somu/kanrenlink/kanrendantai/kanren/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。
 正会員会費割引申請フォーム (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)
 初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。
 ※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書(正会員) (https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375